



とりにいく診察

全身性の皮疹を呈した発熱疾患

名瀬徳洲会病院 初期研修医 勝俣 智美

症例 63歳男性

【主訴】 発熱・皮疹

【現病歴】

来院4日前から節々の痛みと高熱あり。

両膝・両腰の痛みで筋肉痛かと思っていた。

同日より両腕・体幹に発疹あり。

日に日に悪化するため受診。

症例 63歳男性

【既往歴】 脳出血(左不全麻痺 歩行可能)、高血圧症

【内服歴】 なし

【生活歴】 喫煙：40本×40年 飲酒：焼酎1合

追加で聞きたいことはありますか？

追加問診

【職業】 水道管の調査 ほぼ屋外作業

- ・ 藪の整理などを最近頻繁にしていた。

頭痛軽度

咳なし、痰なし、呼吸苦なし

腹痛なし、下痢なし、嘔気なし

排尿障害なし、排尿時痛なし

光線過敏なし、口内炎なし、手足のこわばりなし

身体所見

全身状態：意識清明 熱でだるそう

バイタルサイン：39°C

頭頸部

眼球結膜：充血なし 眼瞼結膜：蒼白なし

咽頭発赤なし・腫脹なし・口腔粘膜異常なし

頸部リンパ節：触知せず

項部硬直なし

身体所見

胸部：呼吸音：清 左右差なし 副雑音なし

心音：I → II → III(-)IV(-) 雑音なし

腹部：平坦軟、蠕動音整、圧痛なし

下腿：浮腫なし

皮膚：全身に米粒大から小豆大の辺縁不整な紅斑

搔痒感なし、疼痛なし

皮膚所見



よーく探すと・・・

「これ何ですか？」

「そういえば、熱出る7日前からこんなのあったな」



刺し口？

「ダニにかまれませんでしたか？」

「いや～わかりません」

検査結果

CBC

Chemi

WBC 4840

Neut 80.4

Lym 15.7

RBC 449

Hb 13.3

Ht 38.7

Plt 10.3

AST 64

ALT 44

ALP 233

LDH 432

T-Bil 1.5

D-Bil 0.4

γ-GTP 63

AMY 46

CK 72

BUN 17.6

Cre 1.08

UA 7.1

Na 133

K 3.6

Cl 98

BS 215

CRP 21.80

血沈 30分値 17

1時間値 48

Urine

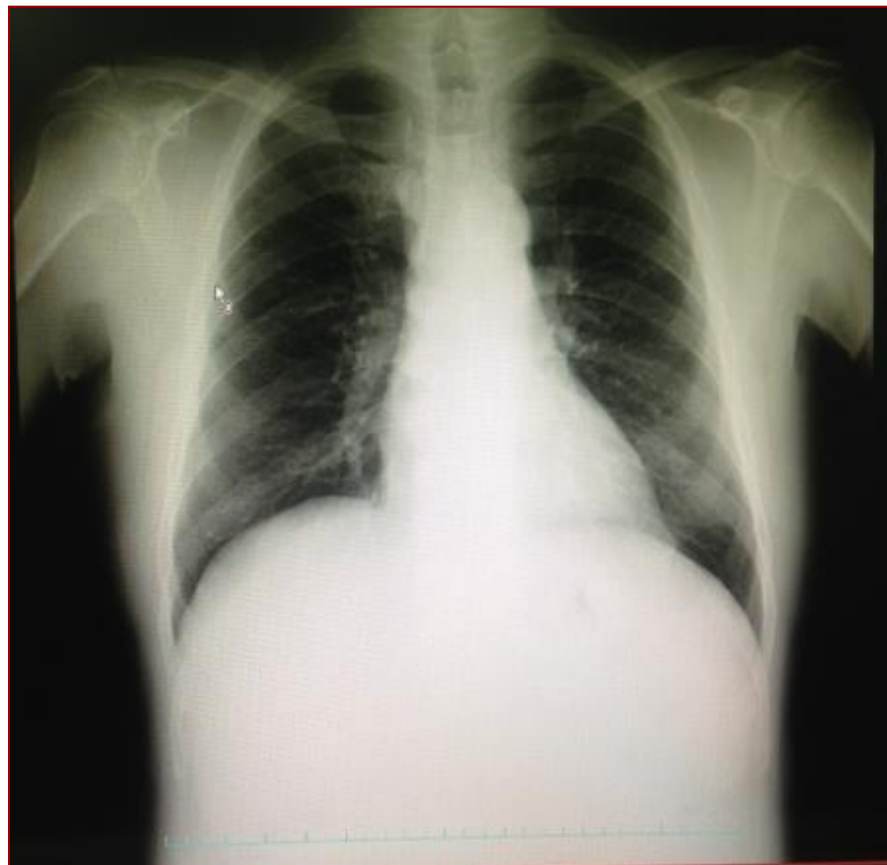
尿蛋白 2+

ウロビリノーゲン 3+

顆粒円柱 2+

画像所見

胸部レントゲン



Problem list

#発熱

#全身性の発疹

#CRP高値

#尿蛋白

#右大腿刺し口？

どのようにして鑑別疾患を挙げますか？

全身性の発疹をきたす発熱疾患

感染性

- ・ 細菌性（髄膜炎菌性髄膜炎、猩紅熱など）
- ・ ウィルス性（麻疹、風疹、EBV、CMVなど）
- ・ リケッチア（日本紅斑熱、つつが虫病など）
- ・ スピロヘータ（梅毒など）
- ・ 原虫（マラリアなど）

全身性の発疹をきたす発熱疾患

非感染性

- ・ 薬剤性

(薬疹、多形滲出性紅斑、DIHS、Steven johnson syndrome)

- ・ アレルギー性

- ・ 膠原病

(SLE、リウマチ熱、成人Still病、Sweet病、強皮症)

- ・ 悪性腫瘍

(白血病、悪性リンパ腫、皮膚悪性腫瘍など)

検査結果

IgG 1069

IgA 281

IgM 61

C3 155

C4 31.6

血清補体価 31.6

抗核抗体 すべて陰性

P-ANCA 陰性

C-ANCA 陰性

EBV抗VCA-IgG 80

EBV抗VCA-IgM <10

EBV抗EBNA抗体 80

麻疹 IgG+ IgM-

風疹 IgG+ IgM-

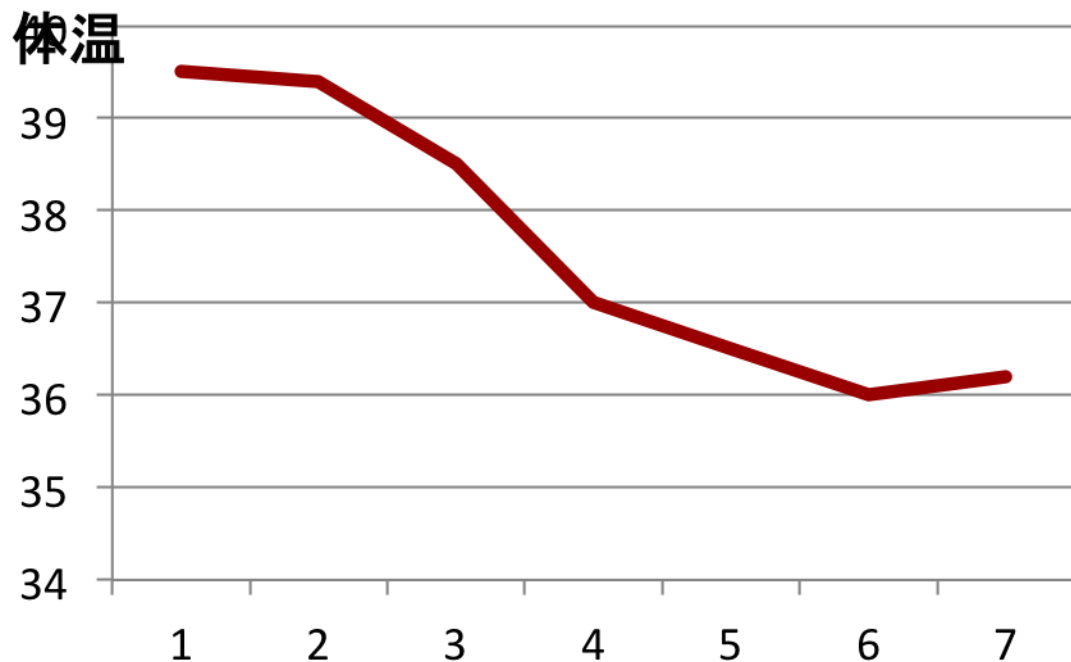
サイトメガロ IgG+ IgM-

診断 リケッチア症を疑ったら

- ペア血清：抗体価4倍以上の上昇/IgM抗体の上昇
- 組織PCR：血清/皮膚



臨床経過



- CRP改善
- 尿蛋白-

ビブラマイシン(100mg 2 T分2)

頭痛・関節痛

皮疹

日本紅斑熱 主なリケッチア症一覧

疾患群	疾患名	病原体	主な発症地
紅斑熱群	* 日本紅斑熱	<i>rickettsia japonica</i>	日本
	ロッキー山	<i>Rickettsia rickettsii</i>	西半球
	シベリア	<i>Rickettsia siberica</i>	シベリア・中欧・中欧アジア
	ポタン熱	<i>Rickettsia conorii</i>	地中海沿岸・インド・アフリカ
	クイーンズランドマダニチフス	<i>Rickettsia australis</i>	豪州（クイーンズランド）
	リケッチア痘	<i>Rickettsia akari</i>	北米・ロシア・南ア・韓国
	ヘルペチカ感染症	<i>Rickettsia helvetica</i>	ヨーロッパ
	その他4種		
	恙虫病群	* 恙虫病	<i>Orientia tsutsugamushi</i>
Q熱群	* Q熱	<i>Coxiella burnetii</i>	**
発疹チフス群	* 発疹チフス	<i>Rickettsia prowazekii</i>	**
	発疹熱	<i>Rickettsia typhi</i>	**

*感染症法指定疾患 **ほぼ世界全域

おまけ・ダニをとるには

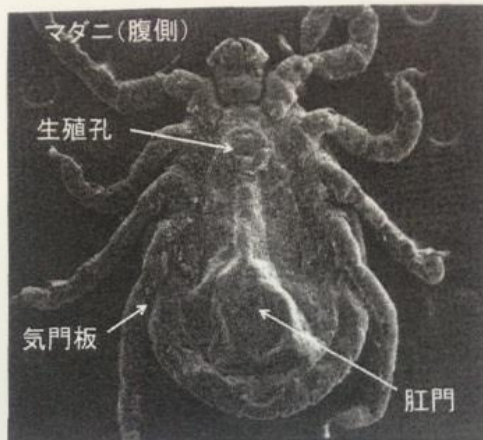


図3 マダニの形態・腹側(フタトゲチマダニ)



図4 マダニの頭部拡大写真

- ・ 吸着時間は1-2日
- ・ リケッチア移行(ダニ→動物)は6時間

■ 後方刺入法

■ 皮膚科的にブロックごと切除

■ ワセリン法

- ①ワセリンで刺咬部を被覆
- ②30分間放置
- ③ガーゼや布で拭き取る

結語・日本紅斑熱の一例より

- 最も大事なことはリケッチア感染症を疑い、
疑い次第、治療開始すること
(初療の遅れがDICなどの原因に！)
- eschar(痂皮)を全身探す (発熱・皮疹・痂皮が三徴)